



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 小池酸素工業株式会社
コード番号 6137 URL <http://www.koikeox.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 岡崎 隆

TEL 03-3624-3111

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	9,611	3.1	△15	—	21	△89.3	285	459.8
24年3月期第1四半期	9,321	5.9	175	△27.4	202	43.3	51	△37.3

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 567百万円 (115.3%) 24年3月期第1四半期 263百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	6.82	—
24年3月期第1四半期	1.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	48,964	23,357	44.9
24年3月期	49,488	23,112	44.0

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 21,973百万円 24年3月期 21,760百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	7.00	7.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

24年3月期期末配当の内訳 普通配当 5円00銭 特別配当 2円00銭

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,000	6.9	600	4.3	650	14.6	700	302.6	16.71
通期	42,000	2.7	1,200	△7.5	1,300	△3.0	1,000	1.5	23.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当するものであります。詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	45,229,332 株	24年3月期	45,229,332 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	3,352,650 株	24年3月期	3,352,319 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	41,876,847 株	24年3月期1Q	41,880,943 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係	9
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復旧が進み、景気は緩やかな回復基調にありましたが、円高・株安の継続、雇用情勢の低迷、電力不足への懸念など厳しい状況で推移しました。

当社グループの主要先である鉄鋼、造船、産業機械、建設機械などの各業界においては、一部に生産増の動きが見られましたが、東日本大震災の復興需要の遅れや国内生産から海外生産へのシフト、ヨーロッパの財政不安、中国経済の減速懸念などの影響を受けて低調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは海外市場への積極的展開、中・薄板、一般市場などの新市場に向けた新技術・新製商品の開発と販売力強化、生産効率の向上、原価低減や経費削減に取り組みましたが、その効果は限定的なものとなりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は96億11百万円（前年同期比3.1%増）、経常利益は21百万円（同89.3%減）、四半期純利益は2億85百万円（同459.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

機械装置

機械装置部門においては、4月に大阪で開催された2012国際ウエルディングショー（J I W S 2012）に「ソリューションメーカーとして、切断から溶接へ、厚板から薄板へ、そして世界へ」をテーマとして掲げ、環境に優しく、作業者の安全にも配慮したお客様の生産性の向上を目指した切断システム、溶接システムを展示発表しました。業界初となる門型2kWファイバーレーザー切断機、世界市場と中・薄板、一般市場を視野に入れた汎用プラズマ切断機「INTEGRAPH-GLOBAL」、閃光やヒュームなどの環境問題の解決と良質な切断面質を実現したウォータージェット切断機「KOIKEJET」などの最新技術の切断機とプラズマ溶接システム、ターニングローラやポジショナーなどの各種溶接治具を展示し、大きな評価を得ましたが、内需においては厳しい局面が続いたため、受注は伸び悩みました。

海外部門においては、円高により輸出環境が悪化するなか、小池酸素（唐山）有限公司・コイケコリアエンジニアリング(株)製造のNC切断機をアジア諸国へ本格的に販売を開始するとともに、コイケアロンソン(株)・コイケアロンソブラジル(株)と協業し、中南米造船業界への営業活動を本格化させ、パラグアイおよびブラジルの造船会社から大型NC切断機の大量一括受注を得ることができました。

生産部門では、部品の共通化や中国をはじめとする海外からの調達拡大など生産の効率化とコスト削減に取り組みました。また、開発面においては、海外子会社との協業により、国際標準機「INTEGRAPH-GLOBAL」の開発を完了させましたが、長引く国内の需要の低迷により稼働率の低い状態が続きました。

その結果、売上高は41億41百万円（前年同期比11.7%増）、セグメント損失は41百万円（前年同期はセグメント利益99百万円）となりました。

高圧ガス

工業用ガスにおいては、切断・溶接設備受注に絡む新規ガス獲得およびシェアアップへの取組を推進するとともに、2012国際ウエルディングショーにおいて、高品質溶接用混合ガス「スーパーシールド」・簡易カードル「KSマルチカードル」の実演、展示を行い積極的な提案を行いました。また、電力料金値上げによる製造原価高騰への対応として価格改定への取組を開始しましたが、需要低迷の中、成果をあげることができませんでした。

生産面においては、尾道工場においてアセチレン製造ラインを見直し、高品質・高純度化を図りました。また、ガス製造工場のさらなる原価低減、保安確保、安定供給に努めました。

医療分野においては、酸素濃縮器のレンタルは、競争激化に伴う価格下落の影響を受けましたが、酸素濃縮器の販売は、更新需要に支えられ好調に推移しました。また、院内主力製品である「ヨックスディスポ」（ディスポーザブル吸引器）は、積極的な営業展開を行い、新設病院向けに販売を伸ばしました。

その結果、売上高は36億33百万円（前年同期比4.1%減）、セグメント利益は2億3百万円（同26.7%減）となりました。

溶接機材

溶接機材部門においては、東日本大震災被災ユーザーの復旧により若干の溶接材料の増加はありましたが、本格的な復興需要には至らず、溶接材料および溶接機の販売数量を増加させることはできませんでした。

2012国際ウエルディングショーに、価格競争力のある新型溶接液晶面、多目的マグネット治具などの輸入新商品を出展し、需要の喚起による拡販を図るとともに、新商品として中国唐山開元溶接製のサブマージ溶接機を出展し、多数の引き合いとその後の営業活動により受注を得ることができました。また、6月からガス溶断作業の安心、安全、保安をスローガンに安全器の完全設置を目的とした「アプロゴ安全にキャンペーンセール」を実施し、逆火防止器の拡販につなげるとともに、工業用扇風機、スポットクレーンなどの季節商品の拡販を図り、成果をあげることができました。

その結果、売上高は17億76百万円（前年同期比15.4%増）、セグメント利益は20百万円（同32.5%減）となりました。

その他

ガス機器においては、国内半導体業界が低迷している中、液晶ディスプレイメーカー向けに新型排ガス処理装置の販売活動を推進しました。中国においては、5月に上海で開催された国際太陽光展示会に出展し販売促進を図りましたが、欧州経済の低迷による設備投資の抑制により、実績には結びつきませんでした。また、台湾、中国以外のアジア地域の市場に関して、今後の新市場開拓を目的とした調査を開始しました。

その結果、売上高は60百万円（前年同期比78.8%減）、セグメント損失は39百万円（前年同期はセグメント利益30百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報**(資産)**

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、489億64百万円であり、前連結会計年度末に比べ5億24百万円減少しました。流動資産合計は302億36百万円で、前連結会計年度末に比べ2百万円増加しました。これは主に受注増加に伴う仕掛品などのたな卸資産の増加7億1百万円によるものです。固定資産合計は187億28百万円で、前連結会計年度末に比べ5億26百万円減少しました。これは主に当社が千葉県市川市に所有していた工場、営業所跡地の借地権を売却したことなどによる借地権2億41百万円の減少と、所有株式の時価の下落など、投資その他の資産の減少2億9百万円によるものです。

(負債)

流動負債合計は187億71百万円で、前連結会計年度末に比べ6億96百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金の減少7億63百万円によるものです。固定負債合計は68億35百万円で、前連結会計年度末に比べ72百万円減少しました。これは主に社債の償還50百万円によるものです。

(純資産)

純資産合計は233億57百万円で、前連結会計年度末に比べ2億44百万円増加しました。これは主に、配当金の支払と為替換算調整勘定の増加によるものです。

この結果、自己資本比率は44.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月10日に公表いたしました連結予想から修正は行っておりません。詳細につきましては、「平成24年3月期決算短信」3ページ 1. 経営成績 (1) 経営成績に関する分析②次期（平成25年3月期）の見通し を参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項**(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動**

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,327	6,999
受取手形及び売掛金	13,551	13,387
有価証券	74	74
商品及び製品	4,457	4,667
仕掛品	1,689	2,041
原材料及び貯蔵品	1,888	2,028
その他	1,490	1,302
貸倒引当金	△245	△266
流動資産合計	30,234	30,236
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,925	3,901
機械装置及び運搬具(純額)	1,014	1,052
工具、器具及び備品(純額)	488	492
土地	9,148	9,126
リース資産(純額)	679	658
建設仮勘定	59	27
有形固定資産合計	15,315	15,258
無形固定資産		
のれん	94	55
リース資産	20	18
その他	398	178
無形固定資産合計	512	252
投資その他の資産	3,426	3,217
固定資産合計	19,254	18,728
資産合計	49,488	48,964

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,219	10,455
短期借入金	2,979	2,885
1年内返済予定の長期借入金	1,084	1,128
1年内償還予定の社債	210	210
未払法人税等	548	296
賞与引当金	449	420
役員賞与引当金	55	22
受注損失引当金	15	22
製品保証引当金	16	17
その他	2,890	3,311
流動負債合計	19,468	18,771
固定負債		
社債	240	190
長期借入金	2,288	2,328
退職給付引当金	280	275
役員退職慰労引当金	207	207
資産除去債務	13	13
その他	3,877	3,820
固定負債合計	6,907	6,835
負債合計	26,375	25,607
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金	2,357	2,357
利益剰余金	16,152	16,146
自己株式	△820	△820
株主資本合計	21,718	21,712
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	327	189
土地再評価差額金	1,236	1,235
為替換算調整勘定	△1,520	△1,163
その他の包括利益累計額合計	42	261
少数株主持分	1,352	1,383
純資産合計	23,112	23,357
負債純資産合計	49,488	48,964

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	9,321	9,611
売上原価	6,991	7,280
売上総利益	2,329	2,331
販売費及び一般管理費	2,154	2,347
営業利益又は営業損失(△)	175	△15
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	24	26
受取賃貸料	22	23
物品売却益	11	7
為替差益	5	14
貸倒引当金戻入額	0	2
その他	15	13
営業外収益合計	81	90
営業外費用		
支払利息	25	27
賃貸費用	22	14
その他	7	10
営業外費用合計	54	52
経常利益	202	21
特別利益		
固定資産売却益	1	668
収用補償金	3	—
特別利益合計	5	668
特別損失		
固定資産除売却損	0	1
投資有価証券評価損	13	—
減損損失	26	12
工場移転費用	3	—
災害による損失	1	—
その他	0	0
特別損失合計	46	13
税金等調整前四半期純利益	160	676
法人税、住民税及び事業税	116	306
法人税等調整額	△61	58
法人税等合計	54	365
少数株主損益調整前四半期純利益	105	311
少数株主利益	54	25
四半期純利益	51	285

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	105	311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	△137
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	197	393
その他の包括利益合計	157	256
四半期包括利益	263	567
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	191	506
少数株主に係る四半期包括利益	72	61

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,707	3,789	1,539	9,035	285	9,321	—	9,321
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,707	3,789	1,539	9,035	285	9,321	—	9,321
セグメント利益	99	277	30	407	30	437	△262	175

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、加熱プラズマ機器、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売業が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△262百万円には、のれんの償却額△38百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△232百万円及びたな卸資産の調整額△70百万円、その他の調整額79百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	4,141	3,633	1,776	9,551	60	9,611	—	9,611
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,141	3,633	1,776	9,551	60	9,611	—	9,611
セグメント利益 又は損失(△)	△41	203	20	182	△39	143	△159	△15

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、加熱プラズマ機器、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売業が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△159百万円には、のれんの償却額△39百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△242百万円及びたな卸資産の調整額36百万円、その他の調整額86百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(6) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
減価償却費	308百万円	273百万円
のれんの償却額	38	39

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	4,261	102.7
高圧ガス (百万円)	89	100.7
報告セグメント計 (百万円)	4,350	102.6
その他 (百万円)	—	—
合計 (百万円)	4,350	102.6

(注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第1四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
機械装置	3,518	84.4	6,251	111.5

(注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 受注高及び受注残高につきましては、標準機・部品等の金額を含めておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	4,141	111.7
高圧ガス (百万円)	3,633	95.9
溶接機材 (百万円)	1,776	115.4
報告セグメント計 (百万円)	9,551	105.7
その他 (百万円)	60	21.2
合計 (百万円)	9,611	103.1

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。